

令和4年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(防衛省04-⑩)

施策名	ハイレベル交流・政策対話等の推進				担当部局名	防衛政策局、人事教育局、統合幕僚監部			
施策の概要	我が国にとって望ましい安全保障環境を創出することは、我が国の防衛の根幹に関わり、また、我が国防衛そのものに資する極めて重要かつ不可欠な取組であるとの認識の下、自由で開かれたインド太平洋のビジョンも踏まえつつ、二国間・多国間の防衛協力・交流を一層推進する。特に、ハイレベル交流、政策対話、軍種間交流に加え、自衛隊と各国軍隊との相互運用性の向上や我が国のプレゼンスの強化等を目的として、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、共同訓練・演習、装備・技術協力、能力構築支援といった具体的な取組を各軍種の特性に応じ適切に組み合わせ、戦略的に実施する。こうした防衛協力・交流の意義を踏まえ、より相互に連携し、具体的かつ踏み込んだ取組を行うべく業務要領の改善、体制の整備、制度の見直し等を進めるとともに、部隊運用に際して、防衛協力・交流に関する所要を一層反映していく。また、取組を実施するに当たっては、関係府省との連携、諸外国や非政府組織、民間部門等との連携を図るとともに、取組について戦略的に発信する。				政策体系上の位置付け	安全保障協力の強化 (安全保障協力の強化)			
達成すべき目標	二国間・多国間におけるハイレベル交流、政策対話、軍種間交流等の実施		目標設定の考え方・根拠	【目標設定の考え方】 大綱に従い、自由で開かれたインド太平洋というビジョンを踏まえ、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進する。 【根拠】 大綱、中期防	政策評価実施予定時期	令和4年8月			
測定指標	目標		目標年度	実績	測定指標の選定理由及び目標(水準・目標年度)の設定の根拠				
①	ハイレベル交流のみならず、部隊間交流を含む様々なレベルで二国間・多国間の防衛協力・交流を多層的に推進		二国間・多国間における防衛首脳などハイレベルの交流	令和5年度	別紙	・中期防において次のとおり示されていることから、これらの取り組み状況を測定指標として設定。 Ⅲ 自衛隊の能力等に関する主要事業 5 安全保障協力の強化 我が国にとって望ましい安全保障環境を創出することは、我が国の防衛の根幹に関わり、また、我が国防衛そのものに資する極めて重要かつ不可欠な取組であるとの認識の下、自由で開かれたインド太平洋のビジョンも踏まえつつ、二国間・多国間の防衛協力・交流を一層推進する。特に、ハイレベル交流、政策対話、軍種間交流に加え、自衛隊と各国軍隊との相互運用性の向上や我が国のプレゼンスの強化等を目的として、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、共同訓練・演習、装備・技術協力、能力構築支援といった具体的な取組を各軍種の特性に応じ適切に組み合わせ、戦略的に実施する。こうした防衛協力・交流の意義を踏まえ、より相互に連携し、具体的かつ踏み込んだ取組を行うべく業務要領の改善、体制の整備、制度の見直し等を進めるとともに、部隊運用に際して、防衛協力・交流に関する所要を一層反映していく。また、取組を実施するに当たっては、関係府省との連携、諸外国や非政府組織、民間部門等との連携を図るとともに、取組について戦略的に発信する。			
			二国間・多国間における防衛当局間の定期協議など						
			二国間・多国間における部隊間の交流行事を通じた相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進						
			二国間における留学生の交換						
			二国間・多国間における研究交流						
			多国間における安全保障対話等						
達成手段(開始年度)	予算額計(執行額)			当初予算額	関連する指標	達成手段の概要等		令和3年行政事業レビュー事業番号	
	令和元年度	2年度	3年度	4年度					
(1) 教育訓練履修給付金(H10)	111 (107)	112 (89)	139 (102)	141	1	教育訓練履修給付金は、開発途上国の国防担当政府機関が、防衛省の教育訓練機関に財政上の懸念なく容易に留学生を派遣できる環境を整備することにより、両国防衛当局間の相互理解・信頼醸成を促進し、最終的に我が国の安全保障上の利益に資することを目的とした制度である。		0308	
(2) ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援(H28)	70 (61)	66 (2)	69 (68)	67	1	ジブチ軍工兵部隊の災害対処能力を強化し、防衛当局間の関係強化を通じた二国間の相互理解・信頼醸成の促進を図ることで、ジブチ拠点の長期的・安定的な使用のための基盤を確保する。		0309	
(3) ハイレベル政策的交流(S45)	245 (188)	276 (34)	420 (120)	322	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。その中において、ハイレベル政策的交流は、他国とのハイレベル(防衛大臣、副大臣、大臣政務官、事務次官、防衛審議官、統・陸・海・空幕長)同士による対話や相互訪問を行うことにより、直接的に相互の信頼、協力関係の充実・強化の増進を図ることを目的としている。また、今後の両国の防衛協力・交流についての具体的な方向性を決定している一方で、ハイレベル同士の友好関係の形成や認識の共有も行われており、防衛当局者間の信頼関係の強化にも寄与している。		0310	

(4)	実務レベル政策的交流 (H2)	108 (163)	108 (13)	107 (28)	108	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。その中において、実務レベル政策的交流は、ハイレベルの対話・交流を基礎として、国防政策の実務を担当する企画立案者同士が継続的に直接意見交換をすることで、当該国との相互の信頼・協力関係の充実・強化の増進に寄与することを目的としている。実務レベル同士の交流は、ハイレベル同士の対話・交流と比べ、より実務的・実践的な意見交換が行われており、具体的な施策の実現に大きく寄与する。	0311
(5)	部隊レベル対話(S44)	45 (45)	51 (7)	54 (6)	64	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。その中において、部隊間交流は、部隊間の共同訓練や交流事業などを通じて相互の信頼・協力関係の充実・強化の増進を図ることを目的としている。	0312
施策の予算額・執行額		579 (579)	613 (145)	789 (324)	703		施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)(平成30年12月18日国家安全保障会議決定及び閣議決定) Ⅲ-5安全保障協力の強化

※達成手段の令和3年度行政事業レビューシートは、最終公表段階のものである。

令和4年度実施施策に係る政策評価の事前分析表(別紙)

(防衛省04-①)

施策名	ハイレベル交流・政策対話等の推進
-----	------------------

測定指標	目標	施策の進捗状況
------	----	---------

①ハイレベル交流のみならず、部隊間交流を含む様々なレベルで二国間・多国間の防衛協力・交流を多層的に推進

二国間・多国間における防衛首脳などハイレベルの交流

●令和元年度においては、以下のとおり交流を実施した。

【オーストラリア】防衛相会談(6月、11月)、第6回日米豪シニア・レベル・セミナー(8月)(統幕長)、第7回日米豪シニア・リーダーズ・セミナー(8月)(陸幕長)、空軍本部長訪日(9月)、国軍司令官訪日(11月)、防衛相電話会談(10月、10月、12月)、日米豪防衛相会談(6月)

【インド】防衛相会談(9月、11月、令和2年1月)、防衛相電話会談(10月、令和2年1月)、陸幕長インド訪問(10月)、外務・防衛閣僚会合「2+2」(11月)、陸軍参謀長訪日(12月)、統幕長インド訪問(令和2年1月)、海幕長インド訪問(令和2年2月)

【インドネシア】国防次官訪日(10月)、防衛相会談(11月、12月)

【ベトナム】防衛相会談(5月)、国防次官訪日(10月、令和2年2月)、防衛審議官ベトナム訪問(11月)、海幕長ベトナム訪問(12月)、統幕長ベトナム訪問(令和2年3月)

【シンガポール】防衛相会談(5月、11月)、海幕長シンガポール訪問(5月)、統幕長シンガポール訪問(6月)、空幕長シンガポール訪問(10月)、国防次官訪日(10月)、防衛審議官シンガポール訪問(令和2年2月)

【フィリピン】防衛相会談(4月、11月)、空幕長フィリピン訪問(6月)、国防次官訪日(10月)、防衛審議官フィリピン訪問(11月)、参謀長訪日(12月)

【タイ】防衛審議官タイ訪問(4月)、統幕長タイ訪問(8月)、陸幕長タイ訪問(9月)、防衛相会談(11月)、防衛審議官タイ訪問(令和2年3月)、統幕長タイ訪問(令和2年3月)

【カンボジア】防衛審議官カンボジア訪問(7月)、国防長官訪日(10月)、陸幕長カンボジア訪問(令和2年2月)

【ミャンマー】国軍司令官訪日(10月)、国防副大臣訪日(10月)、防衛相会談(11月)

【ラオス】防衛副大臣会談(10月)、国防次官訪日(10月)、防衛審議官ラオス訪問(令和2年3月)

【マレーシア】海軍参謀長訪日(6月)、空幕長マレーシア訪問(10月)、国防事務総長訪日(10月)、防衛相会談(12月)、防衛審議官マレーシア訪問(令和2年2月)

【ブルネイ】国防次官訪日(10月)、防衛審議官ブルネイ訪問(令和2年3月)

【韓国】防衛相会談(11月)、日米韓防衛相会談(6月、11月)、日米韓参謀総長級会談(10月)、日米韓参謀総長級テレビ会談(11月)

【英国】空幕長英国訪問(7月)、国防事務次官訪日(9月)、防衛相電話会談(11月)、空幕長英国訪問(1月)

【フランス】陸軍参謀総長訪日(4月)、防衛相会談(11月、令和2年2月)、空幕長フランス訪問(令和2年1月)

【カナダ】防衛相会談(6月、令和2年2月)、陸幕長カナダ訪問(10月)、空軍司令官訪日(令和2年2月)

【ニュージーランド】大臣政務官ニュージーランド訪問(6月)、陸軍司令官訪日(9月)、防衛相会談(11月)、空軍司令官訪日(11月)

【NATO】軍事委員長訪日(6月)、防衛大臣とNATO事務総長との会談(令和2年2月)

【ドイツ】政務次官訪日(10月)、防衛相電話会談(11月)、防衛相会談(令和2年2月)

【イタリア】海幕長イタリア訪問(10月)、空幕長イタリア訪問(令和2年1月)

【ウクライナ】防衛相会談(令和2年2月)

【デンマーク】防衛相電話会談(10月)

【EU】防衛大臣とEU上級代表との会談(令和2年2月)

【中国】防衛相会談(6月、12月)、海幕長訪中(4月)

【ロシア】防衛相会談(5月)、外務・防衛閣僚級会議「2+2」(5月)、陸幕長ロシア訪問(5月)、海軍総司令官訪日(11月)

【パプアニューギニア】副大臣パプアニューギニア訪問(令和2年2月)

【トンガ】副大臣トンガ訪問(令和2年2月)

【フィジー】海軍司令官訪日(9月)、副大臣フィジー訪問(令和2年1月)

【アラブ首長国連邦】統幕長アラブ首長国連邦訪問(6月)、防衛相電話会談(10月、令和2年3月)、空幕長アラブ首長国連邦訪問(令和2年3月)

【イスラエル】統幕長イスラエル訪問(6月)

【イラン】防衛相電話会談(10月、令和2年1月)

【エジプト】統幕長エジプト訪問(6月)

【オマーン】防衛相電話会談(10月)、防衛相会談(12月)

【サウジアラビア】防衛相電話会談(10月、12月)

【カタール】防衛相会談(5月、12月)、防衛相電話会談(12月)

【トルコ】陸軍総司令官訪日(6月)、国防大臣訪日(7月)

【バーレーン】防衛大臣と国軍司令官電話会談(10月)、防衛大臣と国軍司令官会談(11月)

【ヨルダン】大臣ヨルダン訪問(12月)

【スリランカ】副大臣スリランカ訪問(7月)

【ブラジル】陸軍司令官訪日(7月)

【モンゴル】防衛相会談(12月)

【ジブチ】防衛相会談(12月)

【ジャマイカ】防衛相会談(12月)

元年度

2
年
度

●令和2年度においては、以下のとおり交流を実施した。

【オーストラリア】防衛相会談(10月)、防衛相電話会談(5月、10月)、日米豪防衛相テレビ会談(7月)、統幕長と豪国防軍司令官との電話会談(4月)、陸幕長と豪陸軍本部長との電話会談(7月)、陸幕長と豪陸軍本部長とのテレビ会談(12月)、第8回日米豪シニア・リーダーズ・セミナー(VTC)(陸幕長)、海幕長と豪海軍本部長とのテレビ会談(8月)、空幕長と豪空軍本部長との電話会談(5月、8月)、空幕長と豪空軍本部長とのテレビ会談(10月)
【インド】防衛相電話会談(5月、12月)、日印物品役務相互提供協定(日印ACSA)署名、統幕長とインド国防参謀長との電話会談(11月)、陸幕長とインド陸軍参謀長との電話懇談(9月、令和3年3月)、海幕長とインド海軍参謀長とのテレビ会談(9月)、空幕長とインド空軍参謀長との電話会談(4月、8月)、空幕長とインド空軍参謀長とのテレビ会談(9月)、空幕長インド訪問(12月)、インド空軍主催空軍参謀長等会議(エアロ・インディア)(VTC)(令和3年2月)
【インドネシア】第2回外務・防衛閣僚会合「2+2」(令和3年3月)、防衛相会談(令和3年3月)、防衛相電話会談(5月)、防衛相テレビ会談(8月、11月)、統幕長とインドネシア国軍司令官との電話会談(9月)、陸幕長とインドネシア陸軍参謀長との電話会談(11月)、海幕長とインドネシア海軍参謀長とのテレビ会談(11月)
【ベトナム】防衛相テレビ会談(11月)、次官級協議(VTC)(6月)
【シンガポール】防衛相電話会談(5月)、防衛相テレビ会談(12月)、統幕長とシンガポール国軍司令官とのテレビ会談(8月)、陸幕長とシンガポール陸軍司令官とのテレビ会談(11月)、海幕長とシンガポール海軍司令官とのテレビ会談(9月)
【フィリピン】防衛相電話会談(5月)、防衛相テレビ会談(10月)、陸幕長とフィリピン陸軍司令官との電話懇談(8月)、海幕長とフィリピン海軍司令官とのテレビ会談(7月)、空幕長とフィリピン空軍司令官との電話会談(4月)、空幕長とフィリピン空軍司令官とのテレビ会談(11月)、第7回日フィリピン次官級協議(VTC)(令和3年1月)
【タイ】統幕長とタイ国軍司令官とのテレビ会談(9月)
【カンボジア】陸幕長とカンボジア陸軍司令官との電話懇談(9月)
【マレーシア】防衛相電話会談(7月)、統幕長とマレーシア国軍司令官とのテレビ会談(9月)
【ブルネイ】次官級協議(電話)(7月)
【韓国】日米韓防衛実務者協議(VTC)(5月)、日米韓参謀総長会議(VTC)(11月)
【英国】第4回外務・防衛閣僚会合「2+2」(VTC)(令和3年2月)、防衛相電話会談(4月、令和3年3月)、防衛相テレビ会談(令和3年1月)、統幕長と英国防参謀長とのテレビ会談(7月)、海幕長と英第1海軍卿兼海軍参謀長によるテレビ会談(9月、令和3年3月)、空幕長と英空軍参謀長(5月)
【フランス】防衛相電話会談(4月)、防衛相テレビ会談(令和3年1月)、統幕長とフランス軍統合参謀総長とのテレビ会談(7月)、陸幕長とフランス陸軍参謀長とのテレビ会談(12月)、海幕長とフランス海軍参謀長とのテレビ会談(10月)、フランス海軍参謀長訪日(11月)、空幕長とフランス空軍参謀長との電話会談(6月)
【ドイツ】防衛相電話会談(4月)、防衛相テレビ会談(11月)、防衛相フォーラム(VTC)(12月)、日独情報保護協定署名(令和3年3月)、陸幕長とドイツ陸軍総監との電話会談(10月)、海幕長とドイツ海軍総監とのテレビ会談(11月)、防衛審議官とドイツ国防次官とのテレビ会談(令和3年1月)
【カナダ】防衛相電話会談(5月、11月)、統幕長とカナダ参謀総長との電話会談(6月)、海幕長とカナダ海軍司令官とのテレビ会談(11月)、空幕長とカナダ空軍司令官とのテレビ会談(令和3年1月)
【ニュージーランド】防衛相テレビ会談(5月)、防衛審議官とニュージーランド国防次官との電話会談(9月、12月)
【NATO】防衛大臣とNATO事務総長との電話会談(7月)、統幕長とNATO軍事委員長との電話会談(4月、11月)
【イタリア】防衛相電話会談(5月)、空幕長とイタリア空軍参謀長との電話会談(8月、10月)
【ウクライナ】防衛相テレビ会談(令和3年3月)
【フィンランド】防衛相テレビ会談(8月)
【EU】統幕長とEU軍事委員長との電話会談(6月)
【中国】防衛相テレビ会談(12月)
【バプアニューギニア】防衛相電話会談(6月)
【トンガ】防衛相電話会談(8月)
【フィジー】防衛相テレビ会談(8月)
【アラブ首長国連邦】防衛相電話会談(6月)、防衛相テレビ会談(令和3年3月)、統幕長とアラブ首長国連邦国軍参謀長との電話会談(7月)、統幕長とアラブ首長国連邦国軍参謀総長とのテレビ会談(令和3年3月)、空幕長とアラブ首長国連邦空軍司令官との電話会談(令和3年3月)
【イスラエル】統幕長とイスラエル国軍参謀総長との電話会談(6月)
【イラン】防衛相テレビ会談(令和3年2月)
【エジプト】統幕長とエジプト国軍参謀総長との電話会談(6月)
【サウジアラビア】防衛相電話会談(9月)、防衛大臣とサウジアラビア国防副大臣との電話会談(令和3年2月)
【バーレーン】統幕長とバーレーン国防参謀長とのテレビ会談(8月)
【パキスタン】防衛大臣とパキスタン陸軍参謀長とのテレビ会談(8月)
【モンゴル】防衛相テレビ会談(6月)
【ブラジル】防衛相テレビ会談(12月)、「日本国防省とブラジル連邦共和国国防省との間の防衛協力及び交流に関する覚書」署名(12月)

●令和3年度においては、以下のとおり交流を実施した。

【オーストラリア】

陸幕長と豪陸軍本部長の電話会談(4月)、日豪防衛相電話会談(5月)、第9回日豪外務・防衛閣僚協議(「2+2」)(VTC)(6月)、空幕長と豪空軍本部長とのテレビ会談(6月)、第9回日米豪シニア・リーダーズ・セミナー(VTC)(陸幕長)(7月)、豪陸軍本部長訪日(11月)、日豪円滑化協定署名(令和4年1月)、日豪防衛相電話会談(令和4年2月)、統幕長と豪国防軍司令官との電話会談(令和4年2月)、海幕長と豪海軍本部長との懇談(ハワイ)(令和4年2月)、日米豪海軍種3 国間懇談(ハワイ)(海幕長)(令和4年2月)

【インド】

統幕長ライシナ・ダイアローグ参加(VTC)(4月)、空幕長とインド空軍参謀長とのテレビ会談(6月)、陸幕長とインド陸軍参謀長との電話会談(6月)、海幕長とインド海軍参謀長との会談((ニューポート・米国)国際シーパワーシンポジウム)(9月)、空幕長とインド空軍参謀長とのテレビ会談(10月)、海幕長訪印(令和4年2月)、陸幕長とインド陸軍参謀長との電話会談(令和4年3月)

【韓国】

日米韓参謀総長級会議(ハワイ)(4月)、日米韓防衛相電話会談(令和4年2月)、日米韓参謀総長級会議(ハワイ)(令和4年3月)

【英国】

防衛審議官と英国防次官とのテレビ会談(6月)、英国防大臣訪日(7月)、英第1 海軍卿訪日(7月)、英空軍参謀長訪日(7月)、陸幕長と英陸軍参謀長とのテレビ会談(7月)、海幕長と英第2 海軍卿との会談(シンガポール)(7月)、統幕長と英国防参謀総長とのテレビ会談(7月)、空幕長と英空軍参謀長との会談((コロラドスプリングス・米国)宇宙シンポジウム)(8月)、英国防閣外大臣訪日(9月)、統幕長と英国防参謀長とのテレビ会談(10月)、陸幕長と英陸軍参謀長とのテレビ会談(令和4年1月)

【フランス】

陸幕長とフランス陸軍参謀長とのテレビ会談(5月)、海幕長とフランス海軍参謀長とのテレビ会談(5月)、空幕長とフランス航空・宇宙軍参謀長とのテレビ会談(5月)、海幕長と仏海軍参謀長との会談(シンガポール)(7月)、陸幕長とフランス陸軍参謀長とのテレビ会談(8月)、統幕長とフランス軍統合参謀総長とのテレビ会談(10月)、空幕長とフランス航空宇宙軍参謀長との会談(ドバイ)(11月)、第6 回日仏外務・防衛閣僚会合(「2 + 2」)(VTC)(令和4年1月)、陸幕長とフランス陸軍参謀長とのテレビ会談(令和4年2月)

【ドイツ】

第1 回日独外務・防衛閣僚会合(「2+2」)(VTC)(4月)、日独防衛相テレビ会談(6月)、ドイツ連邦軍総監訪日(11月)、ドイツ海軍総監訪日(11月)、空幕長とドイツ空軍総監との会談(ドバイ)(11月)、陸幕長とドイツ陸軍総監とのテレビ会談(11月)、陸幕長とドイツ陸軍総監とのテレビ会談(令和4年1月)

【カナダ】

日加防衛相テレビ会談(4月)、空幕長とカナダ空軍司令官との会談((ハワイ)太平洋地域空軍参謀長等シンポジウム)(8月)、海幕長とカナダ海軍司令官との会談((ニューポート・米国)国際シーパワーシンポジウム)(9月)、空幕長とカナダ空軍司令官との会談(ドバイ)(11月)、日加防衛相テレビ会談(12月)、第5 回日加次官級「2 + 2」対話(VTC)(令和4年3月)

【ニュージーランド】

21.4 日ニュージーランド防衛相テレビ会談(4月)、防衛審議官とニュージーランド国防次官との電話会談(12月)、統幕長とニュージーランド国防軍司令官とのテレビ会談(令和4年1月)

【オランダ】

海幕長とオランダ海軍司令官との会談((ニューポート・米国)国際シーパワーシンポジウム)(9月)、統幕長とオランダ参謀総長とのテレビ会談(10月)、空幕長とオランダ空軍司令官との会談(ドバイ)(11月)

【NATO】

統幕長とNATO 軍事委員長とのテレビ会談(4月)、統幕長とNATO 軍事委員長とのテレビ会談(10月)

【ウクライナ】

日ウクライナ防衛相テレビ会談(令和4年3月)

【ポーランド】

日ポーランド防衛相テレビ会談(令和4年2月)、日本国防衛省とポーランド共和国国防大臣との間の防衛協力及び交流に関する覚書(令和4年2月)、統幕長とポーランド軍参謀総長とのテレビ会談(令和4年3月)

【イタリア】

空幕長とイタリア空軍参謀長との会談((コロラドスプリングス・米国)宇宙シンポジウム)(8月)、空幕長とイタリア空軍参謀長とのテレビ会談(10月)、空幕長とイタリア空軍参謀長との電話会談(令和4年3月)

【中国】

日中防衛相テレビ会談(12月)

【インドネシア】

陸幕長とインドネシア陸軍参謀長との電話会談(8月)、

【ベトナム】

日ベトナム防衛相テレビ会談(6月)、陸幕長とベトナム人民軍副総参謀長とのテレビ会談(7月)、日ベトナム防衛相会談(ハノイ)(9月)、日ベトナム防衛装備品・技術移転協定署名・発効(9月)、統合幕僚長とベトナム人民軍総参謀長とのテレビ会談(11月)、日ベトナム防衛相会談(東京)及びベトナム国防次官訪日(11月)、サイバーセキュリティ分野での協力に関する覚書署名(11月)、衛生分野での協力に関する覚書署名(11月)

【シンガポール】

海幕長とシンガポール海軍司令官とのテレビ会談(4月)、海幕長シンガポール訪問(IMSC(International Maritime Security Conference))(7月)

【フィリピン】

日フィリピン防衛相テレビ会談(6月)、陸幕長とフィリピン陸軍司令官との電話会談(6月)、海幕長とフィリピン海軍司令官との会談((ニューポート・米国)国際シーパワーシンポジウム)(9月)、空幕長とフィリピン空軍司令官との会談((ハワイ)太平洋地域空軍参謀長等シンポジウム)(9月)、空幕長とフィリピン空軍司令官とのテレビ会談(11月)、空幕長とフィリピン空軍司令官とのテレビ会談(R4年1月)

【タイ】

日タイ防衛相テレビ会談(5月)、海幕長とタイ海軍司令官とのテレビ会談(R4年1月)

【カンボジア】

日カンボジア防衛相テレビ会談(6月)、カンボジア陸軍司令官訪日(R4年2月)

3
年
度

3 年 度 （ 続 き ）	<p>【ラオス】 日ラオス防衛相テレビ会談(6月)</p> <p>【マレーシア】 日マレーシア防衛相テレビ会談(4月)、海幕長とマレーシア海軍司令官とのテレビ会談(4月)、空幕長とマレーシア空軍司令官とのテレビ会談(7月)、空幕長とマレーシア空軍司令官との会談(ドバイ)(11月)</p> <p>【ブルネイ】 日ブルネイ防衛相テレビ会談(5月)、日ブルネイ防衛相テレビ会談(12月)</p> <p>【トンガ】 統幕長とトンガ軍参謀総長との電話会談(R4年2月)</p> <p>【フィジー】 統幕長とフィジー国軍司令官との電話会談(R4年2月)</p> <p>【イスラエル】 空幕長とイスラエル空軍司令官との会談(11月)(ドバイ)、空幕長とイスラエル空軍司令官との電話会談(R4年3月)</p> <p>【カタール】 統幕長とカタール軍参謀総長とのテレビ会談(10月)</p> <p>【スリランカ】 防衛大臣とラージャパクサ大統領(国防省を所管)とのテレビ会談(7月)</p> <p>【UAE】 日UAE防衛相テレビ会談(11月)</p>
---------------------------------	--

二国間・多国間における防衛当局間の定期協議など

元 年 度	<p>●令和元年度においては、以下のとおり協議等を実施した。</p> <p>【オーストラリア】日米豪安全保障・防衛協力会合(5月)、</p> <p>【インドネシア】第9回日インドネシア防衛当局間協議(8月)</p> <p>【ベトナム】第7回日ベトナム戦略的パートナーシップ対話(6月)、第7回防衛次官級会合(11月)</p> <p>【フィリピン】第8回日フィリピン外務・防衛当局間協議(6月)、日フィリピン防衛当局間協議(6月)、第6回日フィリピン次官級協議(11月)</p> <p>【カンボジア】第5回日カンボジア外務・防衛当局間協議(12月)、第6回日カンボジア防衛当局間協議(12月)</p> <p>【ラオス】第3回日ラオス安全保障対話(令和2年3月)</p> <p>【韓国】日米韓防衛実務者協議(5月)</p> <p>【カナダ】第11回日カナダ外務・防衛当局間協議(12月)、第12回日カナダ防衛当局間協議(12月)</p> <p>【ニュージーランド】第12回日ニュージーランド防衛当局間協議(9月)</p> <p>【ドイツ】日独政務局長級外務・防衛当局間協議(11月)</p> <p>【イタリア】第6回日イタリア防衛当局間協議(令和2年2月)</p> <p>【スペイン】第3回日スペイン防衛当局間協議(6月)</p> <p>【ウクライナ】第1回日ウクライナ防衛当局間協議(9月)</p> <p>【フィンランド】第3回日フィンランド防衛当局間協議(9月)</p> <p>【中国】「日中防衛当局間の海空連絡メカニズム」に関する第2回年次会合・専門会合(令和2年1月)</p> <p>【ヨルダン】第1回日ヨルダン外務・防衛当局間協議(7月)</p> <p>【パキスタン】第10回日パキスタン防衛当局間協議(6月)</p> <p>【モンゴル】第5回日モンゴル外交・防衛・安全保障当局間協議(4月)、第5回日モンゴル防衛・安全保障当局間協議(4月)</p>
2 年 度	<p>●令和2年度においては、以下のとおり協議等を実施した。</p> <p>【シンガポール】第16回シンガポール防衛当局間協議(シンガポール)(11月)</p> <p>【英国】第18回日英外務・防衛当局間協議(VTC)(9月)、第14回日英防衛当局間協議(VTC)(10月)</p> <p>【フランス】第22回日フランス外務・防衛当局間協議(VTC)(7月)</p> <p>【ニュージーランド】第13回日ニュージーランド防衛当局間協議(VTC)</p> <p>【NATO】第16回日NATO高級事務レベル協議(VTC)(10月)</p> <p>【中国】「日中防衛当局間の海空連絡メカニズム」に関する第3回年次会合・専門会合(VTC)(令和3年3月)</p> <p>【イスラエル】第2回日イスラエル安保対話(VTC)(令和3年1月)</p> <p>【バーレーン】第4回バーレーン安保対話(VTC)(10月)</p> <p>【ヨルダン】第2回日ヨルダン外務・防衛当局間協議(VTC)(10月)</p>
3 年 度	<p>●令和3年度においては、以下のとおり協議等を実施した。</p> <p>【韓国】日米韓防衛当局局長級会議(電話)(10月)、日米韓防衛当局局長級会議(電話)(令和4年1月)、日米韓防衛当局局長級会議(電話)(令和4年2月)</p> <p>【フランス】第23回日フランス外務・防衛当局間協議(東京)(10月)</p> <p>【ドイツ】第18回日独政務局長級外務・防衛当局間協議(東京)(6月)、第15回日独防衛当局間協議(東京)(6月)、第16回日独防衛当局間協議(VTC)(9月)</p> <p>【ニュージーランド】第14回日ニュージーランド防衛当局間協議(VTC)(12月)</p> <p>【中国】第13回日中高級事務レベル海洋協議(VTC)(12月)</p> <p>【ヨルダン】第3回日ヨルダン外務・防衛当局間協議(VTC)(11月)</p> <p>【パキスタン】第8回日パキスタン外務・防衛当局間協議、第11回日パキスタン防衛当局間協議(VTC)(6月)</p>

二国間・多国間における部隊間の交流行事を通じた相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進

元 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度においては、以下のとおり親善訓練を実施した。 ・日マレーシア親善訓練(4月、5月、9月) ・日インドネシア親善訓練(5月) ・日中親善訓練(10月) ・日タイ親善訓練(令和2年1月) ・日ブルネイ親善訓練(6月) ・日オマーン親善訓練(9月、12月) ・日モルディブ親善訓練(4月、7月) ・日バングラデシュ親善訓練(10月) ・日ベトナム親善訓練(6月) ●ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援(10月～12月)
2 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度においては、以下のとおり親善訓練を実施した。 ・日シンガポール親善訓練(6月) ・日インド親善訓練(6月) ・日インドネシア親善訓練(10月) ・日スペイン親善訓練(令和3年2月) ●ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援(中止)
3 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度においては、以下のとおり親善訓練を実施した。 ・日インドネシア親善訓練(6月) ・日ベトナム親善訓練(10月、11月、R4年2月) ・日フィリピン親善訓練(7月、11月) ・日タイ親善訓練(R4年3月) ・日カンボジア親善訓練(R4年3月) ・日マレーシア親善訓練(R4年3月) ・日ブルネイ親善訓練(6月、12月) ・日パラオ親善訓練(9月、R4年3月) ・日バヌアツ親善訓練(9月) ・日スリランカ親善訓練(6月、R4年1月、2月) ・日パキスタン親善訓練(7月) ・日ペルー親善訓練(11月) ・日バングラデシュ親善訓練(R4年1月) ●ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援(10月～12月)

二国間における留学生の交換

元 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度は以下のとおり留学生の交換を実施した。特に、令和元年度においては、統合幕僚学校国際平和協力センターの課程において、初めて、エチオピア、ヨルダン、南アフリカからの留学生の受入を実施した。 ●留学生の受け入れ: 令和元年度は、主にアジア・太平洋地域諸国から、合計104名の留学生を新規に防衛省・自衛隊教育機関に受け入れた。内訳は以下のとおり。(タイ10名、フィリピン2名、インドネシア5名、シンガポール1名、ベトナム9名、カンボジア3名、東ティモール3名、ラオス2名、ミャンマー1名、インド6名、パキスタン9名、韓国11名、モンゴル5名、豪州6名、米国10名、ドイツ2名、フランス8名、カナダ1名、メキシコ1名、スペイン1名、カタール1名、スリランカ2名、イタリア1名、エチオピア2名、ヨルダン1名、南アフリカ1名) ●諸外国への留学: 令和元年度、諸外国へ新規に留学した自衛隊員は合計127名であり、その内訳は以下のとおり。(米国116名、英国2名、ドイツ1名、フランス1名、イタリア2名、韓国1名、豪州1名、インド1名、カタール1名、カナダ1名)
2 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度は以下のとおり留学生の交換を実施した。 ●留学生の受け入れ: 令和2年度は、主にアジア・太平洋地域諸国から、合計65名の留学生を新規に防衛省・自衛隊教育機関に受け入れた。内訳は以下のとおり。(タイ10名、フィリピン2名、インドネシア7名、シンガポール1名、ベトナム13名、カンボジア3名、ラオス1名、ミャンマー3名、マレーシア2名、インド1名、パキスタン1名、韓国5名、モンゴル4名、豪州4名、米国8名) ●諸外国への留学: 令和元年度、諸外国へ新規に留学した自衛隊員は合計76名であり、その内訳は以下のとおり。(米国64名、英国3名、ドイツ1名、フランス1名、イタリア1名、韓国2名、豪州1名、インド1名、タイ1名、マレーシア1名)
3 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●留学生の受け入れ: 主にアジア・太平洋地域諸国から、合計92名の留学生を新規に防衛省・自衛隊教育機関に受け入れた。内訳は以下のとおり。(タイ10名、フィリピン2名、インドネシア7名、ベトナム13名、カンボジア3名、ラオス1名、ミャンマー4名、マレーシア2名、インド5名、パキスタン7名、韓国13名、モンゴル5名、東ティモール1名、フランス6名、豪州2名、米国11名) ●諸外国への留学: 諸外国へ新規に留学した自衛隊員は合計79名であり、その内訳は以下のとおり。(米国64名、英国2名、ドイツ1名、フランス1名、イタリア2名、韓国3名、豪州2名、インド1名、カタール2名、インドネシア1名)

二国間・多国間における研究交流

元年度	<p>●米、韓、中、露、豪、印、パキスタン、東南アジア、欧州、カナダ、北欧及びバルト諸国等の研究機関との2国間あるいは多国間での教育・研究交流を継続したほか、交流の充実・強化として、政府機関や軍も相手方としつつ、以下の取組みを実施した。</p> <p>①中国人民解放軍軍事科学院との戦略対話を東京で実施。 ②中央アジア諸国との研究交流としてトルクメニスタンを訪問し、軍アカデミーなどで意見交換を実施。 ③中国国際戦略研究基金会との研究会を東京で開催。 ④NATO国防大学等校長会議に参加。 ⑤フランス軍事学校戦略研究所に防研研究者を派遣。 ⑥ブルガリア共和国国防副大臣を受け入れ、ロシア及び中国等を含む国際情勢について意見交換を実施。 ⑦マレーシア国防副大臣を受け入れ、インド太平洋における諸情勢について意見交換を実施。 ⑧ドイツ連邦共和国国防政務次官を受け入れ、欧州及びインド太平洋情勢について意見交換を実施。 ⑨インドネシア国家強靱性研究所(レムハンナス)所長を受け入れ、両機関の交流の方向性などについて意見交換を実施。 ⑩駐日エストニア、ラトビア、フィリピン、ノルウェー、リトアニア及びミャンマー大使を受け入れ、地域情勢などに関して意見交換を実施。 ⑪日比防衛研究交流として研究者2名を派遣し、フィリピン国防大学で研究会を実施したほか、政府機関・シンクタンクなどを訪問し意見交換を実施。 ⑫引き続き、NATOサイバー防衛協力センター(CCDCOE)に防研研究者を派遣。 ⑬中国人民解放軍国防大学研修団26名を受け入れ、地域情勢等について意見交換を実施。 ⑭東南アジア交流として、インドネシア及びタイに研究者2名を派遣。 ⑮ARF国防大学等校長会議に副所長以下3名を派遣。</p> <p>●防研主催の国際会議に諸外国の研究機関から講演者等を招へいた。</p> <p>①国際シンポジウム:5カ国の大学・研究機関から6名の研究者を招へいして開催。 ②ASEANワークショップ:東南アジア4カ国の大学・研究機関から4名の研究者を招へいして開催。 ③グローバル安全保障セミナー:米国から1名の研究者を招へいして開催。</p>
2年度	<p>●米、韓、中、露、豪、印、東南アジア、欧州、中東等の研究機関や教育機関との2国間あるいは多国間での教育・研究交流をオンライン形式で継続するとともに、交流の充実・強化として以下の取組みを実施。</p> <p>①韓、豪、欧州、北欧、バルト諸国及び中東等の駐日大使と地域情勢や研究上の協力等に関する意見交換の実施及び大使による一般課程生に対するオンライン特別講義などを実施。 ②引き続き、NATOサイバー防衛協力センター(CCDCOE)に防研研究者を派遣。 ③調査研究のため、米国に防研研究者を2名オンラインで派遣。</p> <p>●防研主催の国際会議に諸外国の研究機関等から講演者等を招へい(オンライン形式)した。</p> <p>①安全保障国際コキアム:4カ国の大学・研究機関から4名の研究者を招へいして開催。 ②戦争史研究国際フォーラム:2カ国の大学から5名の研究者を招へいして開催。 ③ASEANワークショップ:東南アジア6カ国の大学・研究機関から6名の研究者を招へいして開催。</p>
3年度	<p>●米、韓、中、豪、東南アジア、欧州、中東、インド太平洋島嶼部等の研究機関や教育機関との2国間あるいは多国間での教育・研究交流を継続するとともに、交流の充実・強化として以下の取組みを実施した。</p> <p>①NATO国防大学等校長会議に所長・研究者が参加。 ②ARF国防大学等校長会議に所長・研究者が参加(オンライン形式)。 ③日越防衛研究交流として、所長・研究者がベトナム国防国際関係研究所等を訪問し、意見交換を実施。 ④インド太平洋島嶼部との交流として、副所長・研究者がスリランカ・コテラワラ国防大学とオンラインで意見交換を実施。 ⑤駐日カンボジア大使と地域情勢などに関して意見交換。駐日ウクライナ大使・インド陸軍第17軍団司令官の一般課程に対する特別講義等を実施。 ⑥引き続き、NATOサイバー防衛協力センター(CCDCOE)に防研研究者を派遣。 ⑦調査研究のため、シンガポール、米国、英国、カナダ及び韓国に防研研究者を5名派遣。</p> <p>●防研主催の国際会議に諸外国の研究機関等から講演者等を招へい(オンライン形式)した。</p> <p>①安全保障国際コキアム:4カ国の大学・研究機関から5名の研究者を招へいして開催。 ②戦争史研究国際フォーラム:2カ国の大学・研究機関等から6名の研究者を招へいして開催。 ③ASEANワークショップ:東南アジア等3カ国の大学・研究機関から4名の研究者を招へいして開催。</p>

多国間における安全保障対話等

元年度	<p>●拡大ASEAN国防相会議(ADMMプラス)関連会合 ・閣僚会合(11月)、高級事務レベル会合(ADSOMプラス)(4月)、高級事務レベル会合作業部会(ADSOMプラスWG)(令和2年1月)、専門家会合(対テロEWG)(4月、6月、9月、10月、12月)、人道支援・災害救済EWG(4月、7月、10月)、海洋安全保障EWG(5月、9月)、防衛医学EWG(10月)、平和維持活動EWG(9月)、地雷処理EWG(9月、12月)、サイバーEWG(5月、8月、10月)</p> <p>●ASEAN地域フォーラム(ARF)国防当局間会合(5月)</p> <p>●パンフィック・パートナーシップ(3月～5月)</p> <p>●民間機関主催 ・IISSアジア安全保障会議(シャングリラ会合)(5月)、IISS地域安全保障サミット(マナーマ対話)(11月)、ドーハ・フォーラム(12月)、IISSフラートン・フォーラム(令和2年1月)、ミュンヘン安全保障会議(令和2年2月)</p> <p>●防衛省・自衛隊主催等 ・日ASEAN防衛担当大臣会合(11月)、日ASEAN防衛当局次官級会合(10月)</p> <p>●各国国防当局主催 ・ソウル・ディフェンス・ダイアログ(9月)</p>
-----	--

2 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ● 拡大ASEAN国防相会議(ADMMプラス)関連会合 ・ 閣僚会合(12月)、高級事務レベル会合(ADSOMプラス)(7月、11月)、高級事務レベル会合作業部会(ADSOMプラスWG)(6月、11月、令和3年2月)、専門家会合(海洋安全保障)(令和3年3月)、(防衛医学)(令和3年3月)、(サイバー)(令和3年3月) ● 日ASEAN防衛担当大臣会合(12月) ● ASEAN地域フォーラム(ARF)国防当局間会合(7月) ● 民間機関主催 ・ IISSフラートン・フォーラム(令和3年1月) 		
3 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ● 拡大ASEAN 国防相会議(ADMMプラス)関連会合 ・ 閣僚会合(6月)、・高級事務レベル会合(ADSOMプラス)(4月)、・高級事務レベル会合作業部会(ADSOMプラスWG)(4月、6月、R4年2月)、・専門家会合(EWG)(対テロEWG(6月、12月)、HA/DR-EWG(4月、11月)、海洋安全保障EWG(7月、R4年2月)、防衛医学EWG(6月)、平和維持活動EWG(4月、9月、12月)、地雷処理EWG(9月)、サイバーEWG(11月)) ● ASEAN 地域フォーラム(ARF) ・ 国防当局間会合(5月)、安全保障政策会議(5月) ● 防衛省主催 ・ 日・太平洋島嶼国国防大臣会合(9月)、国際士官候補生会議(R4年3月) 		
担当部局名	防衛政策局、人事教育局、統合幕僚監部	政策評価 実施時期	令和4年8月